東亜天文学会 2017 福島年会の報告

2017 年会実行委員長 大野裕明 H. Ohno (福島県 福島市)

2017年10月28日~29日、特定非営利活動 法人東亜天文学会2017年の年会が福島県福 島市奥飯坂の摺上亭大鳥で開催されました。 今回の福島年会は地元の福島天文同好会創立 50周年記念式典に合わせ共同主催として行わ れましたのでその概要を報告いたします。

第1日目 10月28日(土) 福島天文同好会の記念式典

式典では、福 島天文同好会の 佐原小百合さん の司会のもと、 佐藤正行企画事 業部長の開会の 挨拶に続き、佐 藤光会長の挨拶、 小林香福島市長 の来賓祝辞(代 読:西坂邦仁商 工観光部次長)、 大野裕明名誉会 長による記念講 演会講師紹介、表 彰式が行われ大 野名誉会長、佐藤 会長、遠藤晴男氏 (欠席)、遠藤せつ 子氏にそれぞれ 感謝状が贈呈さ れました。その後 大野名誉会長に よる記念品の授 与と続き、山形県 南陽市の大國富



佐藤 光 福島天文同好会会長



大野裕明 福島年会実行委員長

丸氏(代理大野名誉会長)から小惑星「福天」 (同好会の略称)の命名証が佐藤会長に渡され ました。続いて高知市の関勉 OAA 顧問から福 島市長(代理: 西坂商工観光部次長)へ小惑星 「信夫山」(福島の由来ともいわれる福島盆地の中央にある福島市民のシンボル的な山)の命名証が渡され、福島市長(代読:西坂次長)から謝辞がありました。



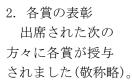
左から西坂邦仁氏、関勉氏、佐藤光氏、大野裕明氏

NPO 法人東亜天文学会 2017 福島年会

1. 開会

福島年会は10月28日午後1時30分から福

島天文同好会の式 典に続き佐原小百 合さんの司会のも と、大野裕明福島 年会実行委員長の 歓迎の辞、山田義 弘理事長の挨拶と 続きました。





山田義弘理事長

①東亜天文学会賞

平林 勇

およに測し技中を務月創書をたに測したでは渡を大年との選びを大年との基本にとの選び、著作との基本にとの説をを表している説をである。



平林 勇

通じて優れた観測者を多数育成し、惑星天文 学の発展に貢献されました。よって東亜天文 学会賞を贈りこれを賞します。

②山本一清学術研究奨励賞

望月悦育



望月悦育

しを与えられました。更に、観測報告はベルギー王立天文台の黒点・太陽長期観測世界データセンター(WDC-SILSO)にも掲載されており、またドイツの SONNE、アメリカの AAVSOへの報告もされ、国際的にも活躍されています。今後益々の貢献を期待し、山本一清記念学術研究奨励賞を贈り表彰いたします。

③天体発見賞

板垣公一

超新星 SN 2016 eqa、SN 2016 esm、 SN 2016 fov、SN 2016 gsd、SN 2016 jag、 SN 2016 hr、SN 2017 cjb、新 星 V5855 Sgr

④天体発見賞 超新星 SN 2016 jfu 坪井正紀

⑤天体発見賞

西村栄男

新 星 V1655 Sco、V1657 Sco

⑥天体発見賞 新 星 V1656 Sco

藤川繁久

授賞後受賞者各人より謝辞がありました。



受賞者左から藤川繁久、西村栄男、坪井正紀、山田理事長、板垣公一、望月悦育、平林勇の各氏

3. 記念写真撮影

事務連絡の後、記念撮影をしました(本誌の 表紙をご覧ください)。

4. 記念講演会

一般の聴講者を交えて OAA 顧問であるコメ

ットハンター関 勉氏による「天体 観測 50 年の軌跡」 と題する記念講演 会を行いました。

前半は関氏が撮 影した画像などを 見ながらイケヤ・ セキ彗星などの思 い出の彗星につい て当時の様子を語



関顧問

られ、後半は演題である観測 50 年間を振り返って若い日の心のうちなどについても熱く話されました。著書にも書いていないことなどにも触れ、聴衆の多くが興味深く聞いていたようで、時間の経つのが早く感じられました。

5. 展示物 (記念メダル) の紹介

関氏が展示した珍しい太平洋 天文学会のコメットメダルなど 受賞記念メダル についての説明



メダルの説明をする関顧問

がありました。

6. 研究発表(1日目)

①「2016-17 シーズンにおける mid-SEB outbreak の活動」 堀川邦昭

木星の南 温帯縞 (SEB) でしい 2016 動が 2016 年 12 月に 8 年 半 よ し、 2017 年 に わたっ



堀川邦昭

て活動した様子を動画やグラフを交えた発表 がありました。

7. 懇親会

研究発表(1 日目)が終わり、事務連絡の後会場の「鳳凰の間」に畳が引かれ宴会場になりました。18 時 30 分から大野実行委員長の司会、板垣公一氏の乾杯の音頭で福島天文同好会との合同懇親会が行われました。久しぶりに会う方や初対面の方たちも和気あいあい

の情報交換 の場となり ました。ブ ラック星博 士こと明石 市立天文科 学館長の井 上毅氏も駆 けつけ、挨 拶の中で次 回開催地が 明石になる ことを案内 されました。 会の終盤、 地元の果物

「りんご」





懇親会風景

や板垣氏の差し入れた豆菓子などの賞品が当たるお楽しみ抽選会があり大いに盛り上がりました。懇親会終了後部屋を変えて二次会が行われ、持ち寄った銘酒などを心行くまで味

わいました。

第2日目 10月29日(日)

8. 研究発表(2日目)

大野年会実行委員長の司会進行で進められました。台風22号の影響で順番を一部変更しました。

②「2017 年アメリ カ皆既日食報告」

大野裕明

今年8月21日に 起きたアメリカ横 断皆既日食をオレ ゴン州カニータ・ リゾートで観測し たので詳細を報告 しました。



大野裕明

③「今世紀に太陽をかすめる大彗星の再来は あるか」 佐藤裕久

今から 900 年以 上前に一つの巨大 彗星が二つに分裂 し細かくなったも のが太陽めがけて やってくる Kreutz 群の変遷と捜索方 法について発表されました。



佐藤裕久

④「土星の第9衛星Phoebe による恒星食の観 測結果」 細井克昌

2017 年 7 月 7 日 (JST) 深夜に起き た土星の第 9 衛星 Phoebe (フェーが) による恒星食がでは 本国内 2 ヵ所での 観測成功し、土星に を機カッシれた値を 追認することや、 観測することや、 観測することで もいったとが、 もいったとで もいったという



細井克昌

法や解析結果について触れ、過去の衛星によ

る観測事例も紹介されました。

⑤「近世日本の火球の連続観察図の発見」

渡邊美和

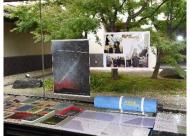
甲府市在住の信 清由美子れた土浦 東発見された土浦 城下の色川美年に 2年11月6日;1845 年12月4日)の大流 星の痕の時系の 境代の流星痕の 続写真のように時 間の経過によりそ



渡邉美和

の形が変化している様子が残されている)ス ケッチを紹介されました。

9. 展示物の紹介



展示物

説明がありました。

10. 次回開催地案内

佐藤裕久理事・彗星課長から昨夜の懇親会 で井上毅氏が挨拶で触れたとおり、次回は明 石市で開催されることを案内しました。

11. 閉会·謝辞

今回の福島年会は福島天文同好会との共同 主催により成功裏に終了することができまし た。福島天文同好会の実行委員の皆さんをは じめ、協力された福島県天文協会の皆さん、 参加された皆さんに感謝申し上げます。